



お申込はこちら

- ・企業の新規事業担当でアイデアを事業化するプロセスに課題をお持ちの方へ
- ・新規事業に挑戦するメンバーを育てたい方へ
- ・既成概念にとらわれずに新規事業を生み出したい、ゼロから1を生み出す土台を身につけたい方へ

## ～ビジネスで使える新価値創造メソッド～

京都大学と凸版印刷との共同研究で生み出された、ビジネスに活かせる「アートイノベーションメソッド」を学ぶ講座。「アート」「カルチャー」「テクノロジー」の融合がもたらす独自のアート思考を、実際に活用している企業の実例をふまえつつ、ビジネスに応用する方法を提供します。少人数制のワークショップで、メソッド開発者であるアーティスト本人から講評を受けられる点が魅力です。

先行き不透明なこの時代、求められるのは、身の回りに大小あふれるクエスチョンを面白がり、自ら未来を作る人材ではないでしょうか。求められるスキルを、アーティストが作品を生み出す際の思考ロジックから開発したのが、「アートイノベーションメソッド」。これまでに凸版印刷をはじめ、名だたる企業の受講生たちが体感し、ビジネスに活かして活躍しています。

### 【学びのポイント】

アートイノベーションを活用した独自のアイデアのプロトタイプを、研究者やアーティストと一緒に検討できます(第2日目)。第一線で活躍する研究者やアーティストから直接フィードバックを受け取ることが出来るのは、少人数制ならではのメリットです。既存のアイデアをブラッシュアップし価値観をアップデートできる、絶好の機会となります。

- ・日本を代表する芸術家の考え方に触られます。
- ・アートと最先端テクノロジー、日本文化を掛け合わせた最新事例や、「アートイノベーションメソッド」の企業の取組事例などご紹介。ビジネス活用への気付きを得られます。

京都大学アートイノベーション特別講座 ～ビジネスで使える新価値創造メソッド～

日程：day1(入門コース)…2022年11月22日(火)9:30～17:45

day2(本格コース)…11月24日(木)10:00～17:30

(※2日間の参加を推奨しますが、day1のみ参加も可能)

定員：day1…定員なし day1&2…限定12名

受講料：day1…5万円(税込) day1&2…12万円(税込)

形式：オンライン(ZOOM)

主催：京大オリジナル株式会社

共催：京都大学防災研究所

お問い合わせ先：京大オリジナル株式会社 プロジェクトマネジメント部

TEL：075-753-7778 E-mail：kensyu@kyodai-original.co.jp

お申し込み：上記QRコード

(<https://www.kyodai-original.co.jp/open-academy/program/?no=667>)

申込締め切り：day1…11月4日(金) day1&2…10月28日(金)

# Art Innovation

# 特別講座へ参加

問題提起型  
アプローチ



STEP1  
発見  
Discovery

問題と好奇心で  
価値を発見。



STEP2  
調査  
Research

認識を深め  
徹底的に調査。



STEP3  
開発  
Development

オリジナルな  
開発手法を開発。



STEP4  
検証  
Verification

イメージを膨らませ  
他者にも理解できる



STEP5  
意味づけ  
Meaning

他者にも理解できる



講座受講までの流れ

- ①アートイノベーションメソッドの事前レクチャー（動画視聴）
- ②〈2日間参加の方のみ〉メソッドを活用した事前課題（アイデアのプロトタイプ）の作成
- ③当日に講座受講（2日間参加の方のみ、事前課題のブラッシュアップを研究者やアーティストから直接フィードバックを受けることができます。）

「アートが持っている現代を生きる力についてー京都大学アートイノベーションメソッドー」



**芸術家・京都大学防災研究所 附属巨大災害研究センター  
アートイノベーション産学共同研究部門 特定教授  
土佐 尚子**

工学博士（東京大学）。人間が歴史の中で行為や文法などの形で蓄えてきた芸術文化をデジタル映像で表現する「カルチュラル・コンピューティング」を提唱し、作品制作・研究を行う。主な作品にニューヨーク近代美術館コレクション『An Expression』、1993年のArs Electronicaで招待展示した『ニューロベイベー』、京都五山建仁寺に奉納した『静寂』『雲の上の山水』高速度撮影の『Sound of Ikebana』『Genesis』がある。2016年度文化庁文化交流使の拜命を受け8カ国を表敬訪問し、NY Times Squareのビルボードで代表作『Sound of Ikebana』を1か月間毎日上映するなど国際的に活躍している。平成30年～31年 内閣府総合科学技術・イノベーション会議専門委員。MIT 建築学部 Center for Advanced Visual Studies のアーティストフェローを経て、現職。

『共同研究企業のアートイノベーション事例紹介』

「アートイノベーションによる社員の創造性開発の取り組みについて」

「アートを身にまとうーデジタル擦染によるイノベーション」



**凸版印刷株式会社 人事労政本部  
人財開発センター 主任  
伊藤 信久**



**セイコーエプソン株式会社  
IJJ営業部 エキスパート  
丸山 紗恵子**



「アートを身近に：生活にイノベーションを起こす感性ライティング」  
**三菱電機株式会社 先端技術総合研究所  
グループマネージャー  
桑田 宗晴**



**セイコーエプソン株式会社  
IJJ営業部  
香西 晶子**

「アートイノベーションフレームワーク™」における5つのステップ  
© Toppan Printing Co., Ltd.

day1  
11/22  
(Tue.)  
9:30 - 17:45

日本の伝統美を知る① 「いけばなの美と哲学」



**華道家元 池坊 次期家元 京都大学経営管理大学院 特命教授  
池坊 専好**

550年以上続く華道家元池坊の次期家元。京都にある紫雲山頂法寺(六角堂)の副住職。いのちをいかすという池坊いけばなの精神に基づく多彩な活動を展開。池坊550年祭ボストン・ニューヨークいけばな交流ツアーにて渡米、国連本部で献華を行う。京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科博士後期課程修了。アイスランド共和国名誉領事。公益社団法人2025年日本国際博覧会協会(2025年大阪・関西万博) 理事・シニアアドバイザー。

日本の伝統美を知る② 「重森三玲の庭 美をつくる・美にきづく」



**重森三玲庭園美術館 館長  
重森 三明**

京都芸術短期大学専攻科修了、パリ国立高等美術学校卒業。2000 - 2001年、祖父である重森三玲の旧宅保存にむけて、三玲邸を舞台にアート・プロジェクトを展開。海外のキュレーター達と企画し、G・オロスコやD・グレアムなど国際的に活躍する作家を招聘した。2006年、重森三玲旧宅の書院庭園部を重森三玲庭園美術館として再生、館長に就任。元々は現代アートを制作、研究していたが、近年、「場のアート」として、庭園など伝統芸術にも関心をよせる。

著書に、『重森三玲 II』(文・写真、京都通信社)、『京の坪庭を楽しむ』(共著、平凡社)など。数年来、庭の設計にも取り組みはじめ、現代アートと庭園の融合を模索する。

「AI と日本美」



**京都大学防災研究所 附属巨大災害研究センター  
アートイノベーション産学共同研究部門 特任教授  
中津 良平**

1971年京都大学工学部修士課程修了。1971年～1995年、NTT 研究所にて音声認識の基礎研究・実用化に従事し、世界初の商用音声認識応答システムを開発。1995年～2002年、ATR(国際電気通信基礎技術研究所)にてテクノロジーとアートの融合研究を牽引。2002年～2007年、関西学院大学理工学部教授としてヒューマノイドロボットの研究に従事。2007年～2014年、NUS(国立シンガポール大学)教授およびInteractive & Digital Media Institute 所長としてメディア研究を推進。現在は京都大学防災研究所アートイノベーション産学共同研究部門特任教授としてアートとAIの融合研究に従事。工博。

day2  
11/24  
(Thu.)  
10:00 - 17:30

グループ討議(講義内容に関するディスカッション、質問まとめ)  
質疑応答および、事前課題のブラッシュアップ  
事前課題発表および質疑、参加者同士の評価(投票)